

## 《 県地方創生総合戦略 》

## 地方における安定雇用の創出

## 多極的な産業構造への転換

- 6次産業化や新たな食と農ビジネスの創出（経済産業部）———・レンコンや柑橘類を活用した商品開発、観光資源としての活用
- 地域企業が行う医療機器の開発（健康福祉部、経済産業部）———・病院、学校、老健などの施設の協力を得て車いす、ベッドなどの福祉機器の開発拠点化、輸出
- 官民連携による次世代自動車の普及促進（企画広報部）———・高齢・障がい者の移動手段（電気自動車やパーソナルモビリティ）の開発や、自動運転などの市街地走行実験の場としての活用（悪路走行の安全性実証実験など）
- CNF（セルロースナノファイバー）の産業化（企業局）———・ヨシやタケなどの地域資源を先端技術に活用

## 県内企業とのマッチング

- 特別支援学校高等部の就労支援（教委）———・医療、教育、流通産業との連携共生、自然再生湿原の管理、観光案内（モリス、北特別支援学校）  
流通センターの障がい者雇用促進センター化
- 障がいのある人の雇用促進（健福、経産部）———
- 高齢者の就労支援（経産部）———・中高年が経験、知恵を障がい者に提供し共生する（農業、集配作業）

## 女性や健康な高齢者が活躍する社会の実現

- 中高年が活躍できる地域づくり ———・自然再生湿原の管理（シルバーの仕事は非生産的で不評が多い）、地域資源の活用
- 地域での活動の創出（経産部）
- シルバー人材センター、地域コミュニティ活性化

## 地方への新しいひとの流れを作る

## 魅力ある教育環境の整備

- 多様な学習機会の提供（教委）———・自然教育、健康教育、障がい教育を地域の社会資源（自然保護団体、病院など）を活用して推進

## 交流の拡大と移住・定住の促進

## 交流の拡大

- 地域資源を活かした観光地づくり（文化・観光部）———・地元の高齢者（おばあちゃん）、地場産品、地域資源（含新東名）を活用した観光地づくり、情報発信

## 移住・定住の促進

- 遊休農地を活用した就業教育（教委）———・後継者のいない農地を農業体験の場としての活用、中高年や障がい者による管理・耕作
- 空き家の活用（くらし・環境部）———・富山型グループホームで就労の場を創出、移住者への定住誘導
- 外国人の生活環境づくり（企画広報部）———・外国人の介護師を養成する。高度医療従事者の確保

## 《 麻機地域創生プロジェクトによる対応 》

「 自然再生湿原による 医療と福祉のまちづくり 」

## 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 安心して家庭を見つける環境整備

若者の雇用・生活の安定化

若者への就労支援（経済産業部）———・不登校など就業に困難を抱える若者の就労体験から雇用まで（Balance など）

### 子育て支援の充実

多様で質の高い保育・教育環境の充実

多様な保育サービスの充実（健康福祉部）———・病児保育、障害児の放課後児童支援など（こども病院、てんかんセンターなど）

特別支援学校における超早期教育の推進（教委）———・子供病院と特別支援学校の連携

職場や地域における子育ての支援

障がいのある子供やその家族への支援（健福部）———・長期療養者・重症児と家族の生活支援、高度医療従事者の確保

## 時代にあった地域をつくり、安心な地域と地域を連携する

### 健康長寿の延伸

県民の健康づくりの推進

健康づくり日本一の推進（健福部）———・自然体験レクリエーション、こころのリフレッシュ、医療の健康産業

### 安全・安心な地域づくり

地震・津波対策の推進

広域防災拠点の整備推進（危管部）———・新東名取り付け道路、防災ヘリポートを活用した、自衛隊等の広域応援部隊等の受入れ  
非常時のための施設を平時に活用（逆もあり）

### 地域社会の活性化

地域包括ケアの総合的な推進（健福部）———・障がい福祉計画の拠点整備（地域での高齢・障害福祉、子育て支援などのワンストップサービス）

医療と介護の総合確保・在宅医療等の強化（〃）———・先進医療と自然治療の融合

### 効率的で持続可能なまちづくり

都市のリノベーション（交通基盤部）

福祉・医療・教育の都市機能集約化———・麻機地域全体が福祉・医療・健康・教育の融合体となる（ベーター麻機）